

香教連・各単組行事の様子、御案内

幼児教育スーパードバイザーをお招きして 幼児教育部研修会を開催



十二月十七日(金)十九時より香川県教育会館三階会議室において、香教連幼児教育部研修会を開催した。講師に、香川県幼児教育スーパードバイザーの森あい子先生をお招きして行った。

はじめに、高木俊彦香教連事務局長の挨拶の後、それぞれ参加者の自己紹介に続き、職場での悩みについてグループディスカッションを行った。主に「教材研究の仕方」「落ち着きのない子どもへの対応の仕方」「職場での人間関係」

「保護者対応」「多忙感を感じる毎日と付き合い方」等の内容が挙げられた。その中からグループでテーマを決めてHOWのロジックツリーを使って、より具体的な解決方法を見つけていった。

次に、講師の森先生から、「教育公務員として今後の幼児教育のために」と題して、現状と今後期待したいこととして講話をしていただいた。「若年の先生が増えてきた昨今スーパードバイザーをいつでも利用していただきたい。主体的な保育をめざすためには職員間の話し合いが必要であること、そこから工夫や解決策が生まれてくること。だから一人で悩まないでチームで動いていきましょう。」と話してくださいました。また、期待することとして、「①思いに沿った活動を」「②子どもたちにとって最善を(常に改善は必要!)」「③多様性に柔軟に対応」の三点を挙げられた。

最後に、主体的な保育をめざす先生が、あまり主体性がなく個性的でないのは非常に残念なこと、もっと余暇を使って自分磨きや他の職種の方とも交流を増やして欲しいと話が締めくくられた。参加された幼児教育部の先生方はどの方も意欲的で、活発な意見交換がなされた。



人事対策委員会開催



一月九日(日)、香川県教育会館において、第四回会長・事務局長会と第二回人事対策委員会を開催した。

会長・事務局長会では、一月から三月までの開催行事の案内や令和四年度の行事予定の検討、人事対策委員会では令和三年度末教職員人事異動に関する異動希望の集約や、地域間異動希望者についての情報交換を行った。

はじめに高木俊彦事務局長の挨拶の後、三月までの活動予定について報告・提案があった。

続いて、県教委人事交渉についての要望書の検討を行った。「令和の日本型学校教育」「学校における働き方改革」が確実に推進・実現されていくよう、「①基礎定数での県内各小学校全学年の一学級三十五人以下学級の確実な実施、また中学校においても基礎定数での実現に向けての国への働きかけ」「②小学校での教科担任制の導入による専科教員の計画的な増配置の推進」「③チーム学校の推進による学校の組織的教育力充実のための人材(教員業務支援員や部活動指導員等)の増配置」「④通級指導教室の増設および中学校への拡充」「⑤人事異動に関しては、本人の意志を最大限尊重することやバランスの取れた地域間交流となるよう配慮すること」等の要望内容について検討を行った。

最後に、十二月に提出いただいた香教連会員票をもとに、主に地域間異動希望がある会員についての情報交換を行った。

教職員が安心して職務に専念できる大事な要素の一つに、人事異動がある。今年度においても、本人の希望を考慮した人事となるよう、県教育委員会、各市町教育委員会等へそれぞれ要望していく。

最後に、十二月に提出いただいた香教連会員票をもとに、主に地域間異動希望がある会員についての情報交換を行った。



各地域で評議員会開催



十一月二十五日(木)に、香川県教育会館二階会議室において、高松市学校職員協議会評議員会が、同日、イマージュセンター一階会議室において、小豆郡教職員会評議員会が行われた。また、十二月十七日(金)には、丸亀市飯野コミュニティセンター一階多目的室において、丸亀市教職員協議会評議員会が行われた。

まず、各地域の会長挨拶の後、これまでの経過報告がなされた。

次に、パワーアップ研修会やフラワールーアレンジメント講習会等の周知、各市町教育委員会や各教育事務所への要望内容について協議した。また、令和四年度人事異動における会員票の記入等についての確認を行った。

さらに、各学校における働き方改革の状況等について情報交換や、十一月に行った各市町教育委員会との予算交渉についての報告等を行った。



令和三年度教育講演会延期のお知らせ

香川県教育文化研究所(教文研)と香川県小・中学校管理職員協議会(香管協)が共催して、令和四年二月十一日(金・祝)に香川県教育会館ミューズホールにおいて、開催予定であった令和三年度教育講演会ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、延期することとなりました。御迷惑をおかけして、大変申し訳ございません。

なお、開催時期等につきましては、今後の状況を踏まえて、香管協と相談の上、書面や香教連HP等で、再度お知らせいたします。

昨今の現状を鑑みますと、まだまだ予断を許さない状況です。一刻も早い終息を切に願うばかりです。御多用のことと存じますが、くれぐれも御自愛ください。

